

## 大分を創る科目を「育成する力」と「授業方法」から見るカリキュラム調査表

「大分を創る科目」のカリキュラムマップの作成を行うために、担当する科目についての調査にご協力をお願いします。

COC+推進機構

**記載方法：下記の記載内容に沿って、赤字及び赤枠の欄に記載又はチェック（口をダブルクリックして「チェック」を入力すると☑になります）をしてください。**

- 記載内容①：枠上に、担当する科目名と主担当教員名を記載してください。育成する力（地域力科目・企業力科目・汎用力科目）のいずれかにチェックを入れてください。  
 記載内容②：縦軸の「地域力育成科目」「企業力育成科目」「汎用力科目」のうち、「育成する力」に該当する欄を選択し、赤枠の空欄の枠に1か所チェック（☑）してください。  
 ※「汎用力育成科目」はテーマごとの「育成する力のレベル」はありません。  
 記載内容③：横軸の「授業形式」の該当する赤枠の空欄の枠に1か所チェック（☑）してください。  
 記載内容④：下段の「<汎用力>観点レベル」の欄に、各「基礎力」毎に適切なレベルを1つ選んで、その欄にチェック（☑）してください。※適切な内容がない場合は不要です。

科目名( ) 主担当教員名( )  
 ※チェック欄は6か所あります。 ☆育成する力 □地域力科目 □企業力科目 □汎用力科目 (いずれかにチェックを入れてください)

		授業形式		教室内的での教員の講義中心とした授業		教室内的での、受講生との双方向性(アクティブ・ラーニング的要素)を導入している授業・外部講師による授業 ※インターンシップやフィールドワークは実施しない。		地域・企業におけるフィールドワークやインターンシップ等、地域・企業と連携した授業	
				全てのコマで教員の講義・説明の授業	知識の定着の促進や確認のためのレポートや演習等を通じ行う授業	受講者が行う情報収集や受講生との質疑応答、複数回のレポートや課題、個人個人の報告や発表等を取り入れた授業	受講者が行う情報収集やグループワーク(報告や発表等含む)を取り入れた授業	地域や企業の実態を見聞したり、体験したりする機会が得られ、グループワークや報告・発表等を取り入れた授業	
基盤教養科目(大分を創る科目)	地域力育成科目	☐	レベル1 大分県の地域課題(教育・福祉・医療・科学・文化・防災等)や特色ある産業、観光資源、社会政策・制度について説明できる	☐	☐	☐	☐	☐	☐
		☐	レベル2 地域の取組の多様な資料から、テーマに沿った課題解決の方策について提案することができる						
	企業力育成科目	☐	レベル1 企業の組織やしきみ、特色、価値、行動、製品開発等を説明できる						
		☐	レベル2 企業の取組の多様な資料から、テーマに沿った課題解決の方策について提案することができる						
汎用力育成科目	☐	※企業力育成、地域力育成に該当しない科目							

		チェック欄	各「基礎力」毎に適切なレベルを1つ選んで、その欄にチェック(☑)してください。※適切な内容がない場合は不要です。
<汎用力>観点レベル	対課題基礎力	☐	レベル① 必要な情報を収集できる。
		☐	レベル② 適切な手段を使って多様な情報を収集して、必要な情報を選択して活用することができる。
		☐	レベル③ 多様な情報分析から課題や特色を発見して、課題解決の計画を提案することができる。
	対人基礎力	☐	レベル① 自分の考えを、相手に分かりやすく説明できる。
		☐	レベル② 他者の考えを受け入れ、自分の考えを相手に受け入れられるような説明ができる。
		☐	レベル③ 組織や集団の一員として、他者の考えを受け入れて、自分の考えを他者に受け入れられる建設的な議論をすることができる。
対自己基礎力	☐	レベル① 自分の役割を認識して取り組むことができる。	
	☐	レベル② 自分の考えを基にして、その取組を他者が認めてくれるような取組ができる。	
	☐	レベル③ 組織や社会の一員として、必要に応じた適切な修正や新しい発想を取り入れるなどして持続的な取組ができる。	